

脚線美で魅せるホイール LESSON どっちをねらう? 軽量エコor大口徑インパクト

ドレスアップのキホンである、ホイールのグレードアップ……。ところがプリウスやインサイトの場合、「カッコよければイイじゃん!」だけではユーザーが納得しない。そこで大きなキーワードとなっているのが、「軽量なエコホイール」を選ぶか、デザイン性に富んだ「大口徑インパクト」でガツンといくか? この選択肢によって、カスタマイズ全体の方向性も大きく変わってくる。あなたはどっちをチョイスする? じっくり悩んでください

PHOTO:ウイズ・フォト/小林 健/小松英章/吉見幸夫

Capt

PRIUS&INSIGHT
プレミアム宣言
ホイール編

本命はやっぱり、 軽量&エコホイール!



「エコドライブギア」をテーマに!

RAYS SUPER ECO

[スーパーエコ]

①レイズ ☎06-6787-0019
<http://www.rayswheels.co.jp>

■装着サイズ
6J×15インセット+45
(サイズ:5.5J×15、6J×15
PCD・ホール数:100/4、5H
カラー:スパークシルバー、フォ
ーミュラシルバー 価格:¥
30,450~¥31,500)

軽さに差が出る!

たとえばインサイトの場合、純正アルミの重量が1本7.8kg。レイズのスーパーエコなら3.94kg。その差なんと3.86kg、4本なら15kg以上も軽くなる。まるで鉄がタからスニーカーに履き代えた場合のような身軽さだ。



PCD 100
ホール数 5
純正サイズ
(6J×15、7J×17
インチ)

about TOYOTA PRIUS

プリウスのPCD(ボルト穴を結んだ円の直径)は100mm、ホール数(ボルト穴の数)は5と、特殊な存在。だが、クルマに詳しいひとならピンとくるだろう。そう、スバル系のクルマと同じスペックなのだ。つまり豊富に揃ったスバル向けのアルミがそのまま使えちゃう!



PCD 100
ホール数 4
純正サイズ
(5.5J×15、6J×
16インチ)

about HONDA INSIGHT

インサイトの場合はPCDが100mm、ホール数が4つ。これはコンパクトカーの多くが採用するスペック。言い換えれば、小型車向けにラインアップされている各社のホイールを履きこなせる。ただ、プリウスにくらべるとリム幅を大きくワイド化できない点もある。



やっぱりインチ選びがキモだ!

インチキ〜な15インチ



RAYS CE28 ECO DRIVE ■装着サイズ 5.5J×15インセット+36

まずはインサイトの純正インチキープ(※LSグレードの場合は純正16インチ採用)。迫力という面ではパンチ不足を否認しないが、燃費の面でも、純正タイヤを無駄にしないというエコな観点でもメリットは多い。(■サイズ:5.5J×14~6.5J×16 PCD/ホール数:100、114.3/4、5H 価格:¥39,900~¥54,800)

控え目インチアップ!16インチ



RAYS 707 ECO DRIVE ■装着サイズ 6J×16インセット+45

実用性を重視したインチアップ仕様といえる、16インチ装着。圧倒的なインパクトは感じられないが、乗り心地をしっかりと確保しつつ、上品さを崩さない安定味あふれるスタイルを求めるならおすすめしたいキャラクターだ。(■サイズ:5.5J×15~6J×16 PCD/ホール数:100/4、5H 価格:¥26,250~¥28,350)

迫力の大口徑だ!17インチ



RAYS RE30 ECO DRIVE ■装着サイズ 7J×17インセット+47

2インチアップすることでタイヤのサイドウォール面積も抑えられ、見た目のインパクトは飛躍的に高まる。これと同時に運動性能も向上。インチアップでしっかり自己主張するには、やはりこのサイズが必要だ。(■サイズ:5.5J×15~7J×17 PCD/ホール数:100/4、5H 価格:¥45,150~¥64,050)

新しいシーンの潮流になる
機能性を携えたホイール選び

ここ数年、ドレスアップの流れは間違いなく「大口徑」。たとえば過激化する軽カーのシーンでも、オーバードライヴは当たり前前の世界。ところがハイブリッドカーの場合、ドレスアップのうえでも「省燃費」や「エコ」がひとつのキーワード。やみくもに大口徑インチアップを追求するだけでは、ユーザーの志向にも反するといえるのだ。「サイズは控え目でも、そのぶん純正より軽くてバネ下重量ダウンにつながる」「軽くて剛性の高い、本格的な鍛造製法を採用」など、レイズのスーパーエコも機能性を強くアピールしている。

ホイール編